

### 1 期待する生徒像

普通科	次の全てを満たす生徒 ア 学習成績が優れ、本校入学後も、高校生活全般に向上心をもって意欲的かつ真面目に取り組む生徒 イ 人物が優れ、スポーツや文化活動、ボランティア活動、資格取得などに興味があり、本校の諸活動に積極的かつ継続的に取り組む生徒
家政科	次の全てを満たす生徒 ア 本校家政科の活動や学習の特色を理解し、学ぶための適性を有している生徒 イ 学習成績が優れ、本校入学後も、高校生活全般に向上心をもって意欲的かつ真面目に取り組む生徒 ウ 人物が優れ、スポーツや文化活動、ボランティア活動、資格取得などに興味があり、本校の諸活動に積極的かつ継続的に取り組む生徒

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

#### (2) 調査書 [165点満点]

アの数値に、エについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動、検定、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限30点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 学校設定検査（面接）〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。家政科を志望する場合は、入学後の学習内容について理解した上で志願している。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する抱負や期待があり、目標が明確である。 高校生活（学習・部活動・ボランティア活動・資格取得等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。
エ 服装・身だしなみ・礼儀 ・言葉遣い	服装・身だしなみが整い、基本的な礼儀・言葉遣いが身につけている。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	面接	
500点	135点	30点	40点	705点

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

## 5 その他

過年度卒業生については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。